

報道関係各位  
プレスリリース

## 文豪たちの素顔——明治の名作はいかに生み出されたのか？（全2回）

第1回 「尾崎紅葉と泉鏡花」 第2回 「夏目漱石 vs 黒岩涙香」

日比谷図書文化館では日比谷カレッジ「文豪たちの素顔——明治の名作はいかに生み出されたのか？（全2回）」を開催します。名作を生み出した明治の文豪たちは、なぜ、どのようなタイミングで「あの名作」を生み出したのでしょうか。文豪と呼ばれる彼らも人として日々の生活や作品づくりに苦しみ、師弟・ライバル・親友らの影響を受けて偉大な作品を作りあげてきました。ベストセラー『金色夜叉』を生んだ尾崎紅葉、その弟子で舞台作も人気の泉鏡花。王道の夏目漱石、日本にミステリーを広めた黒岩涙香。今回の講座では、文豪の生きた背景や、周囲の人との関係を探りながら、新たな視点で名作の世界をより深く味わいます。



『金色夜叉』尾崎紅葉が書いた明治時代の代表的な小説

### 講師 堀 啓子（東海大学教授）

1970年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得、博士（文学）。日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、現職。国際児童文学館 令和2年度特別研究者。専門は日本近代文学、比較文学。2000年に尾崎紅葉の『金色夜叉』にアメリカの種本があることを発見、その翻訳『女より弱き者』（バーサ・クレイ著、南雲堂フェニックス、2002）も手がけた。著書に『日本近代文学入門』（中公新書、2019）、『日本ミステリー小説史』（中公新書、2014）、『和装のヴィクトリア文学』（東海大学出版部、2012）、共著に『21世紀における語ることの倫理』（ひつじ書房、2011）など。

### 開催概要

#### 第1回 「尾崎紅葉と泉鏡花——美文家師弟の愛したモチーフ」

2020年12月3日（木） 19:00～20:30（18:30開場）

#### 第2回 「夏目漱石 vs 黒岩涙香——作家と記者の新聞小説」

2020年12月17日（木） 19:00～20:30（18:30開場）

- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員各：各60名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：各回1000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）いずれかにて、①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

千代田区立図書館 日比谷図書文化館

広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、高野 takano-yuta@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL:03-3502-3340/FAX:03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>